

御嵩町 子どもの読書活動推進計画

～ 読書で広がる子どもの未来 ～



平成 25 年 4 月

御嵩町教育委員会

目次

第一編 はじめに	
第二編 御嵩町子どもの読書活動推進計画の策定 1
(1) 策定の主旨・目的 1
(2) 御嵩町の現状 1
(3) 策定の背景 国・県の動向 5
第三編 計画の基本方針 6
(1) 計画の目指す姿 6
(2) 計画の基本方針 8
(3) 計画の位置づけと期間 8
(4) 計画の対象 8
第四編 子どもの読書活動推進のための方策	
第一章 家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進 9
1-1 家庭における子どもの読書推進 9
1-2 地域における子どもの読書推進 9
1-3 中山道みたけ館(図書館)における子どもの読書推進 10
1-4 学校における児童生徒の読書習慣の確立 11
1-5 学校における家庭・地域との連携 12
1-6 保育園・幼稚園における子どもの読書推進 13
1-7 児童館・子育て支援センターにおける子どもの読書推進 13
1-8 町民への啓発と広報による読書活動の推進 13
第二章 子どもの読書環境体制の整備・充実 15
2-1 中山道みたけ館(図書館)における整備・充実 15
2-2 中山道みたけ館(図書館)と関係機関の連携・協力の推進 16
2-3 学校図書室における整備・充実 17
2-4 保育園・幼稚園における子どもの読書環境の整備 18
2-5 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及活動 19
第五編 本計画の取組体系 20
(1) 御嵩町子どもの読書活動推進計画施策の取組体系	
第六編 参考資料	
資料1 子どもの読書活動の推進に関する法律 21
資料2 御嵩町子どもの読書アンケート調査 23
資料3 御嵩町子どもの読書活動推進計画策定委員会設置要綱 37
資料4 御嵩町子どもの読書活動推進計画策定委員名簿 38

第一編 はじめに

テレビ、ビデオ、インターネットなどの様々な情報メディアの発展・普及や、子どもの生活環境の変化、さらには、幼児期からの読書習慣の未形成などによる子どもの「読書離れ」が指摘されてきました。

そうしたことを憂慮して、国では平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を施行するとともに、平成14年に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定、平成20年度には第二次計画を策定しています。

それらを受けて、岐阜県では平成16年に「岐阜県子どもの読書活動推進計画」（第一次）を策定、平成22年3月には目標を「生涯にわたって読書を楽しみ、読書から学ぶ力を身につける子どもをめざした、発達段階に応じた読書活動の推進」として第二次改訂を行い、3年目を迎えています。

こうした国や県の動きの中、御嵩町では「御嵩町子どもの読書活動推進計画」の平成24年度末の策定を目指して、平成23年度に「子どもの読書アンケート」を実施しました。

結果を見ますと、読書が、「好き」「どちらかといえば好き」と回答した子どもが多く、御嵩町の子どもはトータル的には読書活動が身に付いているといえそうです。しかし、学齢が上がるにつれて徐々に「どちらかといえば嫌い」「嫌い」が増える傾向にあることも分かりました。子どもたちが、本に出会い、本の楽しさ・面白さを知り、生涯にわたって読書に親しみ、人生をより深く生きる力を身につけ続けられるようにするためにはどのようにすればよいのか、他の回答結果とも関わらせながら、原因と施策の究明を進めて参りました。

乳幼児期からの読み聞かせの習慣、両親の読書習慣、中山道みたけ館（図書館）の家族での利用傾向等、家族の読書傾向と、読書の「好き」「嫌い」との関わりは極めて大きいようです。読書の「嫌いな子」は、小説や物語を読みたがらないようですから、一層、読解力を養う指導が必要になります。中山道みたけ館（図書館）を利用しない子の多くの理由は「遠い」「時間がない」にあるようです。「子どもの読書活動の推進に関する法律」の基本理念には、「あらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動ができるよう積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。」とも規定しています。

御嵩町では、「読書で広がる子どもの未来」を目指す姿として、そのための読書環境の更なる充実を目指して本計画を策定しました。

本計画の策定にあたり、ご尽力を頂いた「御嵩町子ども読書活動推進計画策定委員会」の皆様はじめ、アンケートにご協力を頂いた皆様、ご助言を頂いた皆様に深く感謝を申し上げます。

平成25年3月
御嵩町教育委員会教育長 丹羽一仁

第二編 御嵩町子どもの読書活動推進計画の策定

(1) 策定の主旨・目的

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きていく力を身につけていくうえで欠くことのできないものです。

読書や読み聞かせは、子どもに生きる力と喜びや感動を与えてくれます。子どもたちは読書により、視野を広げ、自ら考える習慣を身に付け、豊かな感情や思いやりの心などを育てていきます。これからの多様で変化の激しい社会のなかで、子どもたちが自分の将来に夢をもち、自分自身の力で未来を切り開いていく力をつけるために、子どもの読書活動を推進していくことが求められています。

そのためには、子どもたちが発達段階に応じた読書の機会を得られるよう、社会全体で環境の整備に努めていくことが重要になってきます。

そこで、国や県の策定した子ども読書活動推進計画に沿い、町の実情を踏まえ、今後取り組むべき施策を具体的に示し、読書活動の充実に役立てるために『御嵩町子どもの読書活動推進計画』を策定いたします。

なお、御嵩町立図書館は図書館と郷土資料館の複合施設として建設されており、「中山道みたけ館」という名称のため、この推進計画では『中山道みたけ館(図書館)』で統一してあります。

(2) 御嵩町の現状

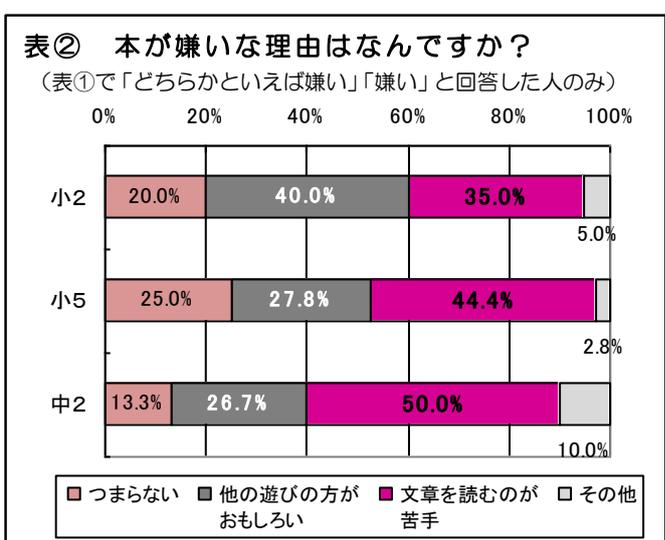
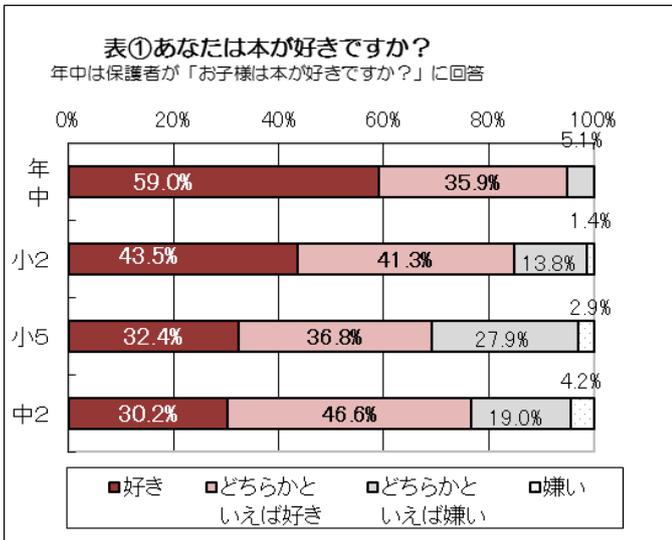
御嵩町においては6校全ての小中学校において、週1回以上の朝読書の時間が設けられており、それによって子どもたちに読書の習慣が根付いてきています。また、小学校では、全ての学校において読み聞かせボランティアによる児童への絵本などの読み聞かせが行われており、子どもに読み聞かせの楽しさを伝える場となっています。

保育園や幼稚園、子育て支援センターでは、保育士が毎日読み聞かせを行っており、園児への絵本の貸出などとともに、絵本を身近に感じられる取組を行っています。

中山道みたけ館(図書館)においては、平成8年開館当初より子ども向けのおはなし会「わくわくたいむ」を開催するとともに、「赤ちゃん絵本コーナー」の設置や児童書の収集にも力を入れてきました。

平成23年9月に町内の小学校・中学校の児童・生徒と保護者、保育園・幼稚園の保護者にご協力戴いた読書アンケートをみると、表①の「あなたは本が好きですか？」という質問に、本が「好き」「どちらかといえば好き」と回答したのは、年中では約95%、小2では約85%、小5では約69%、中2では約77%という結果でした。

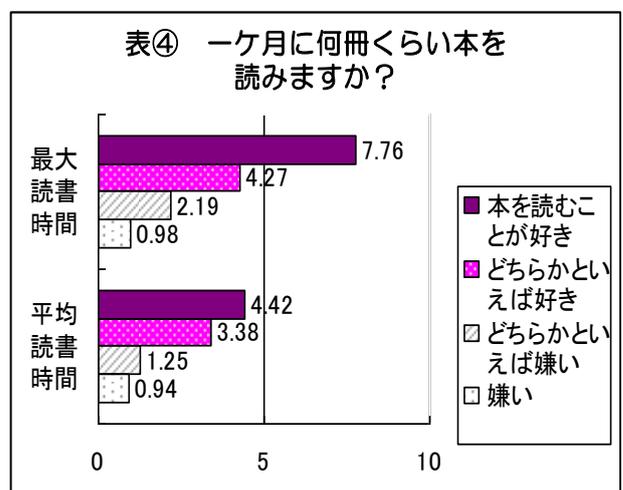
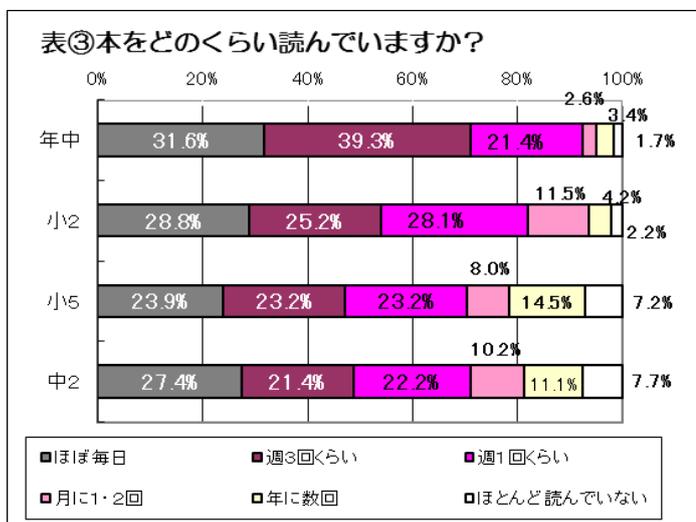
読書に対する様々な取組の成果か、御嵩町の子どもは全体的に読書が好きだといえます。しかし、学齢が上がるごとに「本が好き」と回答する子どもの割合は徐々に少なくなっていく傾向にあります。



表②では、本が「嫌い」「どちらかといえば嫌い」と回答した子に本が嫌いな理由を尋ねています。小2では「ほかの遊びのほうが面白い」との回答が40%と一番多く、他の楽しい遊びと比べて読書の魅力が少なく感じられていると推察できます。また、「文章を読むのが苦手」との回答は小2では35%、小5は44%、中2は50%と学齢が上がる毎に率が増加しています。これは、学齢が上がり活字の多い本を読む機会が多くなってきたことで、文章に対する苦手意識が芽生えてくるからではないかと思われます。

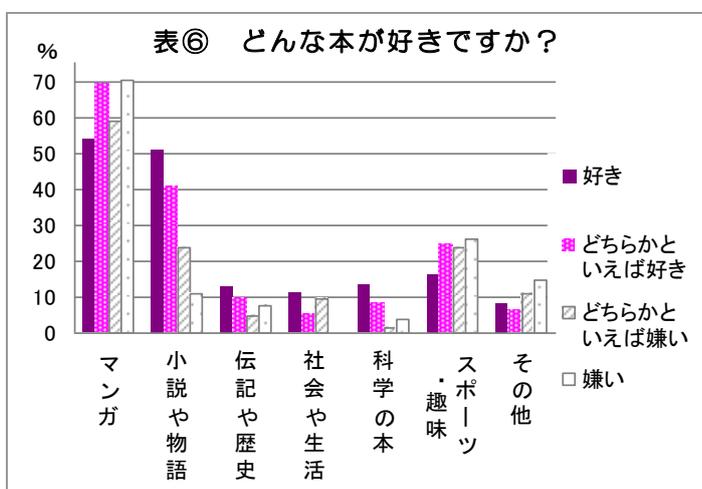
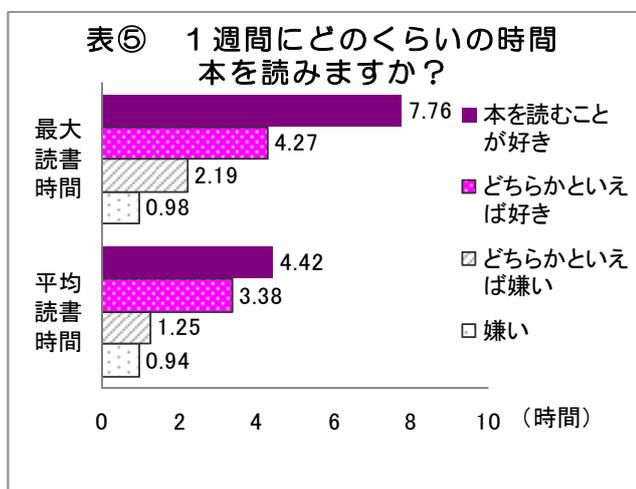
表③の「本をどのくらい読んでいますか？」との質問に対しては、年中保護者の回答では週に1回以上読み聞かせをしている家庭が90%を越えており、家庭での読み聞かせの意識の高さが窺えます。小2、小5、中2でも週1回以上の読書をしている子は70%を越えており、読書を習慣としている子は多いといえます。

表④の一ヶ月の読書冊数と本が好きかどうかの相関関係を調査した結果、「本を読むことが好き」「どちらかといえば好き」「どちらかといえば嫌い」「嫌い」と回答した順で、一ヶ月の読書量は徐々に減少していきます。「本を読むことが好き」と回答した子と「嫌い」と回答した子では、一ヶ月の平均の読書冊数には3倍近くの差があることとなります。

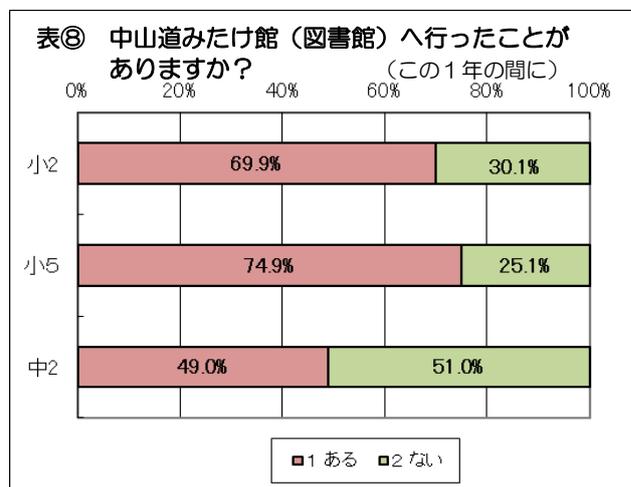
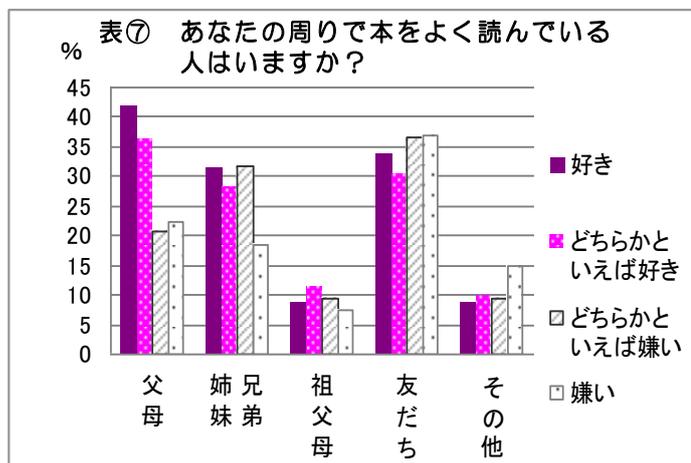


表⑤の1週間の読書時間と読書が好きかどうかの相関関係を調査した結果、読書冊数と同じように「本を読むことが好き」「どちらかといえば好き」「どちらかといえば嫌い」「嫌い」と回答した順で読書時間は徐々に減少していきます。「本を読むことが嫌い」と回答した子は1週間の読書時間は1時間を下回っており、学校での朝読書の時間以外はあまり読書をしていないということがいえるのではないのでしょうか。

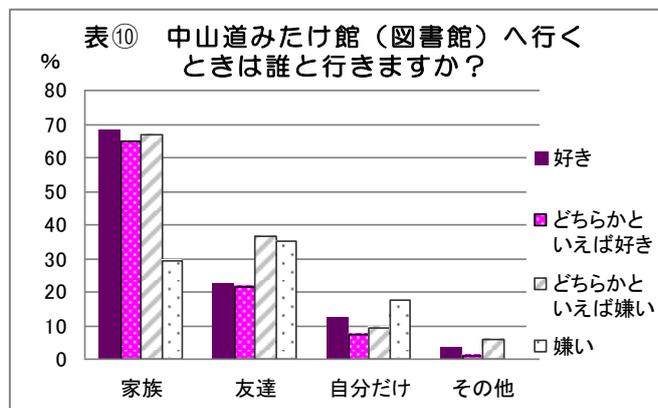
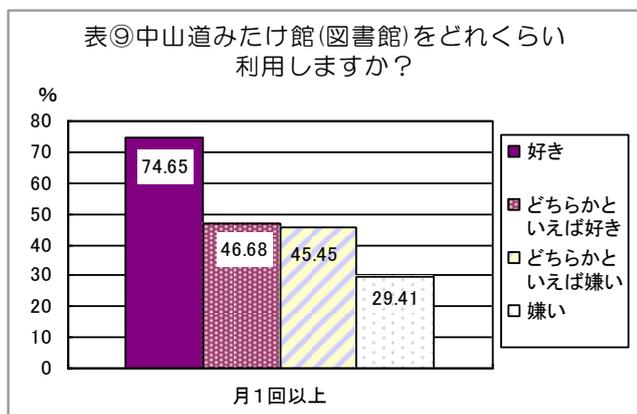
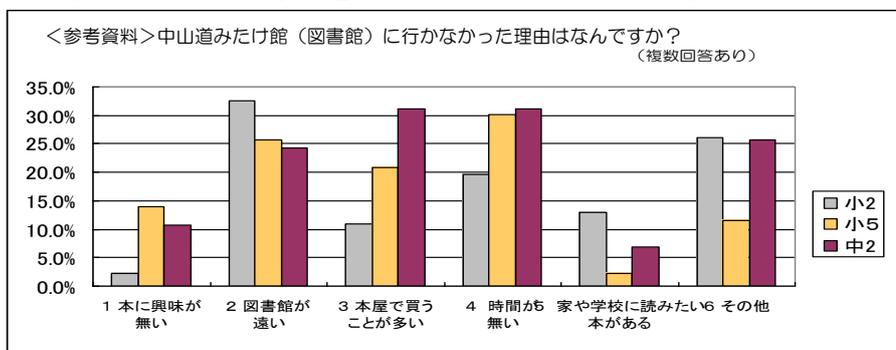
また、表⑥の好きな本の傾向を調査した結果、マンガは本が好きな子も嫌いな子も好んで読んでいるようです。読書傾向に顕著な差が見られたのは小説や物語で、「本が好き」と回答した子は50%以上が小説や物語を選択しているのに対し、「どちらかといえば本が嫌い」は20%、「本が嫌い」と回答した子になると10%まで減少しています。これは、小説や物語は文章量が比較的多く読書に時間がかかることや、物語の読解力なども必要となってくるため、本の嫌いな子は小説や物語を敬遠していくのではないかと推察されます。



下記表⑦は、子どもの読書の好き嫌いが、周りの人の読書環境とどう関連しているかを比較した結果です。「本が好き、どちらかといえば好き」と回答した子は約40%の父母が本をよく読んでいるのに対し、「本が嫌い、どちらかといえば嫌い」と回答した子は、本をよく読む父母の割合が20%程度にとどまっています。兄弟姉妹、祖父母、友人などでは大きな変化は見られません。父母が普段読書をしているかいないかと、子どもが読書を好きになるかどうか深く関係しているといえそうです。



表⑧の中山道みたけ館(図書館)へこの1年の間に行ったことがありますか?という質問に対しては、「行ったことがある」と回答する子どもが小2では約70%、小5では約80%なのに対し、中学生になると50%以下に減少するなどの現状が見られました。これは、中学生になると部活動や塾などで、時間の余裕がなくなっていく事が原因にあるようです。それを表すように、表(参考資料)では、中山道みたけ館(図書館)へ行かない理由には「本に興味がない」という回答は少なく、「図書館が遠い」「時間がない」といった読書環境をあげる回答が中心でした。



表⑨の中山道みたけ館(図書館)の利用頻度のグラフでは、「本が好き」と回答した子どもたちは、約75%の子が月1回以上の利用をしていることから、家での読書習慣や中山道みたけ館(図書館)の利用が定着しているといえます。また、「本が嫌い」と回答した子は月1回以上の利用が30%以下と利用の機会が少なくなっています。表⑩の中山道みたけ館(図書館)へ誰と来ているかの質問では、本が「好き」と回答した子は比較的家族と中山道みたけ館(図書館)へ来ることが多いようですが、「本が嫌い」と回答した子に関しては、家族と来館している子は30%にとどまっており、友人や自分だけで来館する事が多い傾向が見られます。ここからも、家族の読書に対する姿勢が子どもの中山道みたけ館(図書館)利用に与える影響は極めて大きいと推察されます。

また、「本が嫌い、どちらかといえば嫌い」という子も友人とは来館していることから、本好きな友人の存在も大きいといえそうです。

こういったアンケート結果から、御嵩町の子は比較的本を読んでいるといえそうです。しかし、一度苦手意識を持ってしまった子どもは、特に小学校の中学年になると読書から離れてしまう傾向にあるようです。こうした状況に対応するには、幼い頃から読み聞かせなどで絵本の楽しさに触れ、読書への抵抗感を減らしていく必要性を感じます。

子どもの生活の基本は「家庭」です。乳幼児期からの読み聞かせの習慣が、その後の読書習慣につながっていきます。本のある暮らしを幼少期に習慣づけるには、家族が寄り添い、働きかけをすることが重要です。そのために、保護者などが読書活動の意義や重要性について理解を深め、乳幼児期には膝の上で一緒に読み聞かせを楽しみ、学童期になってからも共に読書を楽しむ機会を子どもに与えていくことも大切です。

その他にも、成長段階に応じて子どもがより身近に本を手にする事ができる環境づくりをすることが求められています。

(3) 策定の背景 国・県の動向

子どもの読書離れや読書力の低下が指摘されている今日、子どもの読書推進活動を支援するため、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を国が公布・施行しました。

その基本理念には「すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備を推進する」と定められています。また、この法では「国及び都道府県、市町村はそれぞれ読書活動推進計画の策定に努め、公表しなければならない。また、読書環境の整備は地方公共団体の責務である」と定めています。

この基本理念に基づいて、平成14年8月に、国において「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(第一次基本計画)が策定されました。第一次計画中の平成17年3月には「文字・活字文化振興法」が成立し、文字・活字文化の振興に関する施策の推進が図られています。平成18年には教育基本法、平成19年には学校教育法など教育関連三法が改正され、その中で子どもの読書活動に関連する法整備が進められてきました。

また、第一次計画における成果や課題、諸情勢の変化を検証し、おおむね5年間の施策の基本の方針を明らかにした「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(第二次基本計画)も平成20年3月に策定されました。

こうした国の流れに呼応して、岐阜県においては「岐阜県子どもの読書活動推進計画」(第一次)が平成16年3月に策定されました。

以後、家庭と地域、学校がそれぞれの役割を果たし、相互に連携・協力して子どもの自主的な読書活動を効果的に進めることができるよう、県と市町村と連携を図りながら読書環境の整備が進められてきました。平成20年には岐阜県の教育の新たな指針となる「岐阜県教育ビジョン」が策定されました。この中では岐阜県の読書活動推進についての「現況と課題」と「今後の取組の基本方針」が示されています。この方針に基づいて、県は、より具体的な読書活動の方向性を示すものとして、「岐阜県子どもの読書活動推進計画(第二次)」を平成22年3月に策定しました。この計画では、おおむね5年間にわたる施策の目標と基本方針が明らかにされています。

第三編 計画の基本方針

(1) 計画の目指す姿

御嵩町が目指す姿

町民憲章：生きがいと希望に満ちた魅力ある町づくり
第四次総合計画：ひと・みどり・ものづくり
(将来像・都市イメージ) ～いきいき十字路タウンみたけ～

町の教育が目指す人間像 ～21世紀御嵩町教育・夢プラン基本構想より～

生きがいと共生をめざす人間性豊かな人
～身につけさせたい4つの力～
自立力・共生力・創造力・自己実現力

御嵩町の子どもの読書活動推進計画が目指す姿

読書は自由で自主的なものであり、「子どもの読書活動推進計画」は子どもに強制的に本を読ませようとするものではありません。子どもたちが本に出会い、本の楽しさ、面白さを発見することが重要であり、その環境を整えていくことがこの計画の目指すところです。御嵩町としては、町内の実情を踏まえ、次のとおり基本方針を定めます。

「読書で広がる子どもの未来」

乳・幼児期

<目標とする姿>

本に親しみ、本の楽しさを知る。

・ 本との出会い

- ・ 本を読んでくれる人との信頼関係と安心感の構築を図っていく。
- ・ 絵本の読み聞かせによる豊かなことばの体験によって創造力を育み、感性を豊かにする。

学童期(小学生)

<目標とする姿>

読書の楽しさや読書を通して学ぶ楽しさを知る。

・ 読書の習慣化

- ・ 読書によって新しい知識が得られるという知的好奇心を満たす。
- ・ 読書によって自己を見つめ直し自己意識を育てる。

青年期(中学生・高校生)

<目標とする姿>

本との関わりを広げ、自己洞察力を深める。

・ 本からの学びと、活用

- ・ 読書によって様々な情報を収集し思考することにより人生を切り開いていく力を身につける。

子どもの読書活動は、その発達の段階によって形を変えていきます。

乳幼児期の読書推進活動の目標とする姿は、本と出会い、本を楽しむことにあります。

親子のふれあいにより親子の絆や、「語りかけ」を通して心と言葉が育まれ、安心感や信頼感を得ることができます。絵本のイメージと言葉が結びついてくると、言葉の意味が分かるようになり、絵本の読み聞かせを「楽しい」と思うようになります。豊かな創造力と言葉が育ってきた子どもは自分の思いを言葉で伝えようとする力が育ってくるでしょう。

また、乳幼児期は子どもだけで絵本を楽しむことが難しいことから、町内の様々な施設で読み聞かせを行い、絵本に触れる機会を増やしていくとともに、家庭での読み聞かせの要となる「保護者」へ絵本の読み聞かせの大切さを繰り返し伝え、親が子どもと一緒に読んで絵本の読み聞かせを楽しむ環境が整うような働きかけをすることが重要といえます。

学童期(小学生)の読書推進活動の目標とする姿は、読書の楽しさや読書を通して学ぶ楽しさを知ることにあります。小学生になると自分で本を読むことができるようになってきますが、低学年のうちはまだ読み聞かせによって本を楽しむ時間が必要です。学校での絵本の読み聞かせとともに、家庭での啓発活動をさらに推進していく必要があります。

読書によって知的好奇心が満たされていき、積極的に自分で本を楽しむようになった子どもは、読書の習慣化が図れるようになるでしょう。高学年になると、読書によって自己を見つめ直すことにより自己意識が芽生え、本への興味も幅広くなり、スポーツや歴史の本といった「教養としての読書」や調べ学習など「知識の習得のための読書」により読書の新たな魅力を感じられるようになってきます。一方では、読書に苦手意識を持つようになる子どもも増えてくることから、教師による子どもへの学校図書室利用の働きかけや、「家読(うちどく)」に取り組み、家族ぐるみの読書を啓発していくことも必要です。

青年期(中学生・高校生)の読書推進活動の目標とする姿は、本との関わりを広げ、本を元に自己洞察力を深めていくことにあります。中学生・高校生になると本とのつきあい方も多分野に広がっていきます。読書により思考力が豊かになり、論理的に自分の思考を表現する力も伸びていく時期です。青年期に多くの本に触れていくことは、生涯を通じて読書を楽しみ学ぶ力を身につけていく上でとても重要なことです。読書によって様々な情報を収集し、それを元に深く自己を見つめることができるようになった子どもは、自分の人生を切り開いていく力を身につけていくことでしょう。一方で、この時期は部活動や塾通いなど、多様な生活スタイルの中で読書への興味が薄れ、読書習慣が失われてしまいやすい時期でもあります。一人ひとりに応じた働きかけが必要です。

このように、子どものうちから個人の発達にあった良書と出会うことにより、生涯にわたって心豊かで深い人生を送ることができると考えられることから、「**読書で広がる子どもの未来**」という姿を御嵩町の子ども読書活動推進計画の目指す姿に掲げ、それぞれの発達段階に応じた目標とする子どもの姿もあげました。

また、これらの目標を具体化するために、3つの基本方針を定めました。

(2) 計画の基本方針

1. 家庭、地域、学校における子どもの読書活動の推進

すべての子どもが成長の過程に沿って読書の楽しさを知り、読書活動を広げていくために、家庭・地域・学校がそれぞれの役割を果たすことが求められます。

そのために御嵩町では、各関係機関と連携しながら読書に親しむ機会の提供と環境を整えていきます。

2. 子どもの読書環境の整備・充実

子どもの読書活動推進のためには、身近に読書が出来る環境を整備していくことが重要です。また、図書館司書・図書館担当教諭・学校図書館司書・読み聞かせボランティアなどを十分に活用していくことや保護者自身が本に親しむことも大切です。

御嵩町はこのような観点から家庭での子どもと本との出会いの手助けや、中山道みたけ館(図書館)・児童館・学校図書室などの環境整備に努めます。

3. 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

子どもの読書活動に対する関心と理解を深めるために、様々な機会を通して広く啓発・普及活動を行います。

(3) 計画の位置づけと期間

【位置づけ】

本計画は「子どもの読書活動推進に関する法律」に基づき、「岐阜県子どもの読書活動推進計画」を受け、「御嵩町第四次総合計画 後期基本計画」「21世紀御嵩町教育・夢プラン」などとの整合性を図りながら、子どもの読書活動に関する取組を推進するものです。

【期間】

本計画は、御嵩町の子どもたちが心豊かに成長することを願い、子どもの読書活動推進に関する施策の方向性及び具体的な取組を策定したものです。

計画の実施期間は平成25年度を初年度とし、平成29年度末までの5年間とします。また、その後についても継続して計画の見直しをしていきます。

(4) 計画の対象

本計画の対象は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」、「21世紀御嵩町教育・夢プラン」と同様に0歳から概ね18歳以下の子どもとしています。

また、子どもだけでなく、子どもの読書活動の推進に関わる家庭・保育園・幼稚園・学校・地域なども対象としています。

第四編 子どもの読書活動推進のための方策

第一章 家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進

1-1 家庭における子どもの読書推進

家庭での子どもの読書を推進するためには、町全体での取組が不可欠です。そこで町は、親や子どもに関わる大人に対して、子育てにおける読書の重要性を伝える活動を行います。

具体的な取組

①保護者会や家庭教育学級での読書活動の推進

- ・ 町は、保育園・幼稚園・学校などの保護者会への活動を通して、親子が読書に親しむことを奨励します。
- ・ 教育委員会(生涯学習課)は、家庭教育学級(乳幼児期・幼保育園期・小学校期・中学校期)などでの読書活動推進事業を行います。
- ・ 町は、様々な教室などを通じて、親が読み聞かせや読書の大切さを理解できるよう努めます。

②ブックスタート類似事業の継続的な実施

- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、保健センターの乳児健診に合わせて行っているブックスタート類似事業を継続して実施していきます。また、3歳児健診にも出向き、本の読み聞かせの大切さなどを親子に伝えます。

③絵本のリストの活用

- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、乳幼児向けの絵本のリストの「はじめて出会う絵本のリスト」を作成し、中山道みたけ館(図書館)や保健センター・子育て支援センター・保育園や幼稚園などに設置することで、子どもが絵本に出会える機会を増やします。
- ・ 中山道みたけ館(図書館)内に設置した赤ちゃん絵本コーナーを充実させ、気軽に親子で本を選ぶことが出来るようにします。

1-2 地域における子どもの読書推進

地域における子どもの読書活動の推進には、地域で活躍する読書グループなどの団体の取組が重要です。このため自主的に活動する読書推進団体への支援と関係する機関との連携の強化に取り組めます。

具体的な取組

①読み聞かせボランティアなどの団体への支援

- ・ 中山道みたけ館(図書館)では、関係する読み聞かせの各種団体と連携し、読み聞かせボランティア活動が充実できるよう支援を行います。

②母親クラブなど子育てに関する自主団体への支援

- ・ 中山道みたけ館(図書館)や児童館・子育て支援センターは、自主的に活動する子育てサークルなどの団体に絵本や読書活動に関しての情報提供を行い、活動が充実できるよう支援を行います。

1-3 中山道みたけ館(図書館)における子どもの読書推進

中山道みたけ館(図書館)は、来館する子どもをはじめ、まだ利用したことのない子どもやその家庭に対してもPR活動を行い、利用を働きかけます。

また、中山道みたけ館(図書館)は、地域における読書活動の中心的な施設として、関係機関や団体を通して子どもの読書活動を推進します。

具体的な取組

①おはなし会の充実

- ・ 子どもが本に出会う機会を増やすため、図書館司書や読み聞かせボランティアによるおはなし会を充実させます。
- ・ 読み聞かせの講習会を開催し、ボランティアの育成及び指導に努めます。
- ・ 読み聞かせなどを通して、絵本を介した子どもへの関わり合いの機会を増やすように努めます。

②行事や企画の実施

- ・ 子ども読書の日(4月23日)を中心に、子どもの読書活動の推進を目的とした行事(展示会や講座)を行います。
- ・ 子どもが興味を持てるようなテーマを選び、コーナーを特設するなど、本の並べ方を工夫します。
- ・ 図書館司書が、保育園・幼稚園・学校などの施設に出向き、おはなし会やブックトークなどを実施し、読書の楽しさを伝えるとともに、中山道みたけ館(図書館)の利用も促します。

③レファレンスサービスの充実

- ・ 子どもとその保護者から読書についての相談を受け付けます。
- ・ 子どもを連れて来館した方に対して、図書館司書が本を選ぶお手伝いをします。
- ・ 図書館司書は、図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応じるように努めます。

④ホームページの充実

- ・ ホームページのレイアウトなどを工夫し、親子が一緒に楽しめるようなものにします。
- ・ おすすめの本を紹介しているホームページや、調べ学習に役立つホームページなどとリンクし、子どもが興味を持てるように工夫します。
- ・ 学校など、子どもに関連する施設のホームページとリンクします。
- ・ 子ども向けのイベント情報を積極的に提供します。

⑤ブックリストの作成と活用

- ・ 年代別、テーマ別などのブックリストを作成し紹介します。
- ・ 作成したブックリストを家庭教育学級・保育園・幼稚園・学校などに提供するとともに、関係機関を通して子どもや保護者に絵本や児童書の情報が届くように努めます。

1-4 学校における児童生徒の読書習慣の確立

学校は、朝の読書、読み聞かせなど全校一斉の読書活動や図書委員会活動を推進していくことで読書の習慣化を図り、子どもが自主的に読書に取り組む姿勢を育てます。

具体的な取組

①朝の読書活動の実施

- ・ 習慣的な朝の読書活動を実施します。

②学校独自の読書週間の設定

- ・ 独自の読書週間を設定し、子どもの工夫を活かした委員会活動も取り入れ、読み聞かせや読書の推進を図ります。

③『家読（うちどく）』の啓発と推進

- ・ コミュニケーションが豊かになり、家族の絆が深まる『家族みんなでの読書・家読』を、学校で啓発推進します。

④多読賞・読破賞等の表彰実施

- ・ 読書習慣の確立した子ども(多読上位者や各学期に一定数以上の本を読んだ人、各校で選定した推薦図書を全て読んだ人など)を表彰し、子どもの読書への意欲を高めます。

⑤図書だよりの発行及び児童生徒への配布

- ・ 毎月、図書だよりを発行し児童生徒へ配布することにより、児童生徒及び保護者へ推薦図書や人気の図書を紹介するとともに、家庭での読書活動の啓発推進活動に努めます。

⑥学校図書室を計画的に利用するための取組

- ・ 児童生徒が学習の中で学校図書室を積極的に活用するための取組を行います。

1-5 学校における家庭・地域との連携

学校は、子どもの読書活動を推進していくため、家庭や地域と連携を図り、学校内外での自主的・主体的な読書活動を促します。

具体的な取組

①読み聞かせ活動の充実

- ・ 学校は、保護者や、ボランティアなどによる読み聞かせ活動を推進・支援します。

②教科や各領域における学校図書室及び中山道みたけ館(図書館)活用の支援

- ・ 学校は、教科や各領域に学校図書室及び中山道みたけ館(図書館)を活用した学習を取り入れ、その活用方法を児童生徒に教えることにより、読書活動を支援します。

③放課後児童クラブでの図書の活用

- ・ 町は、放課後児童クラブにおいて、職員による絵本の読み聞かせなどが定期的に行われるようにします。

1-6 保育園・幼稚園における子どもの読書推進

保育園及び幼稚園は、様々な絵本との出会いを通して子どもの豊かな心や想像力を育むことを目指します。保育者による絵本の読み聞かせで、子ども同士が絵本の世界を共有して楽しむこととなり、豊かな心を育み、絵本、紙芝居への興味や関心を高め、読書を好きになる土壌を育てます。

また、保護者に対しては、読み聞かせの重要性に関する啓発活動に努めます。

具体的な取組

①絵本や読み聞かせ活動の推進

- ・ 保育園及び幼稚園は、日々の保育に絵本の読み聞かせを取り入れるとともに、保護者やボランティアを活用した読み聞かせを行うように努めます。

②保護者への読み聞かせ啓発活動の推進

- ・ 保育園及び幼稚園は、保護者へのおたよりなどを通して、年齢や発達にあった絵本や図鑑、読んであげて欲しい絵本などを紹介していきます。
- ・ 保育園及び幼稚園は、保護者に対して、乳幼児期における絵本との出会いの大切さや、読み聞かせの大切さを周知します。

③読み聞かせを通じた異年齢交流の推進

- ・ 保育園及び幼稚園は、中学生・高校生の職場体験学習・保育体験学習の中に絵本や紙芝居の読み聞かせを位置づけ、読み手・聞き手の双方が読み聞かせの楽しさを共有できる機会を設けていきます。

④教職員及び保育士の意識高揚

- ・ 保育園及び幼稚園は、教職員及び保育士が読み聞かせや絵本についての研修会や講演会に積極的に参加するよう努めます。

1-7 児童館・子育て支援センターにおける子どもの読書推進

児童館や子育て支援センターは、中山道みたけ館(図書館)との連携を密にし、自館の図書資料を充実させ、来館する子どもに対しての読み聞かせ活動を推進します。

具体的な取組

①おはなし会の充実

- ・ 子育て支援センターは、職員や図書館司書、ボランティアによるおはなし会を充実させます。
- ・ 児童館では、行事の中で本の読み聞かせなどを行うよう努めます。

②図書資料の充実

- ・ 児童館及び子育て支援センターは、中山道みたけ館(図書館)と連携し、自館資料の充実に努めます。
- ・ 児童館及び子育て支援センターは、中山道みたけ館(図書館)の団体貸出を利用し、図書の充実を図ります。

1-8 町民への啓発と広報による読書活動の推進

子どもは周りの大人の姿を見て育っていきます。大人が日常の様々な場面で読書をしている姿を見せることで読書意欲が育ちます。

特に、乳幼児期の子どもにとって保護者や家族のぬくもりを感じながら、優れた本を共に楽しむということは、心を豊かにする貴重な体験です。家庭、地域、学校などが一体となって子どもを育てていくという意識の下で連携を図りながら、子どもの読書の大切さを啓発していきます。

具体的な取組

①子どもを持つ親への啓発活動

- ・ 中山道みたけ館(図書館)・保育園・幼稚園・乳幼児学級など子育てに関する関係機関は乳幼児期の保護者に対し、絵本の読み聞かせがなぜ大切なのかといった情報を提供し、保護者が子どもと楽しく読み聞かせに取り組むことができるよう支援します。

②子どもを取り巻く周りの大人への啓発活動

- ・ 中山道みたけ館(図書館)・保育園・幼稚園・乳幼児学級など子育てに関する関係機関は、祖父母など、子どもと一緒に過ごす時間の多い大人に対しても、絵本の読み聞かせの大切さを啓発する機会が持たれるようにします。

③子ども読書推進活動に関する町民への情報提供

- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、町や自館のホームページや関係機関の情報誌などを利用し、子どもの本や読書に関する情報を発信します。

④中山道みたけ館(図書館)から関係機関への情報提供

- ・ 学校へは、学校図書館司書や図書館担当教諭などと連携し、情報誌や中山道みたけ館だよりなどを通じて、子どもの本や読書に関する情報や、高学年向けに中山道みたけ館(図書館)の利用方法や利用マナーを学ぶ機会を設けるための情報を発信します。
- ・ 保育園・幼稚園へは、中山道みたけ館だよりなどを通じて子どもの本や読書に関する情報や、保護者向けに読書の重要性や中山道みたけ館(図書館)の利用方法についての情報を発信します。
- ・ 児童館へは、中山道みたけ館だよりなどを通じて子どもの本や読書に関する情報を発信するとともに、季節ごとの絵本を紹介し児童館での読み聞かせを支援します。

⑤ボランティア支援

- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、ボランティアの育成を図り、その活動を支援していきます。

⑥関係機関の連携

- ・ 学校・中山道みたけ館(図書館)・保育園・幼稚園・児童館などの町内の施設は、相互に連携しながら読書活動を推進していきます。
- ・ 学校・中山道みたけ館(図書館)・保育園・幼稚園・読み聞かせボランティアは、定期的に情報交換を行い、相互協力を図ります。
- ・ 学校・中山道みたけ館(図書館)・保育園・幼稚園・読み聞かせボランティアは、研修会や先進地の視察など、合同研修の機会を設け、読書への意識向上と読書活動への共通認識を図ります。

第二章 子どもの読書環境体制の整備・充実

2-1 中山道みたけ館(図書館)における整備・充実

(1) 中山道みたけ館(図書館)における図書資料の整備・充実

中山道みたけ館(図書館)は、多様化している子どもの興味・関心に対応するため、児童図書資料の充実に努めます。

具体的な取組

- ・ 中山道みたけ館(図書館)は豊富で多様な児童図書の充実に目指すとともに、古い資料の見直しを図ります。
- ・ 中山道みたけ館(図書館)は子どもの読書活動を推進するため、調べものの手伝いや相談に応じるなど、レファレンスサービスの充実に努めます。
- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、「赤ちゃん絵本コーナー」の資料を充実させるとともに、保護者向けに赤ちゃん絵本のガイドブックの作成を行います。

(2) 中山道みたけ館(図書館)における施設の整備・充実

中山道みたけ館(図書館)は、子どもや保護者が利用しやすい施設づくりを進め、児童の利用の促進を図るため、快適な読書空間の整備・充実に努めます。

具体的な取組

- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、乳幼児連れの保護者のためにベビーベッドや幼児用トイレ、畳コーナーなどの施設の整備・充実に努めます。
- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、季節に合わせて幼児向けの壁面の飾り付けなどを行うなど、親子が親しみやすく利用できる館内の雰囲気づくりに努めます。

(3) 中山道みたけ館(図書館)における司書の研修などの充実

中山道みたけ館(図書館)は、子どもの読書活動を推進するため「子ども」や「児童資料」に精通し、学校図書室の相談、支援にも対応出来る司書職員の育成・研修に努めます。

具体的な取組

- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、岐阜県図書館協会や可茂地区公共図書館連絡協議会などが開催する各種の研修に司書職員を派遣し、資質の向上を図ります。
- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、自館の職員同士で相互の研修を行い、資質の向上を図ります。

(4) 中山道みたけ館(図書館)における障がいのある子どもへの読書活動を推進するための諸条件の整備・充実

中山道みたけ館(図書館)は、障がいのある子どもに本との出会いが図られるよう施設の充実に取り組むとともに、対面朗読サービスなどの充実に努めます。また、関係機関などとの連携にも努めます。

具体的な取組

- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、現在の施設の見直しを行い、子どもが本と出会う機会を工夫し、さらなるバリアフリー化を目指し、利用しやすい環境作りに取り組みます。
- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、支援の必要な子どもたちの状況に合わせた多様な資料の充実に努めます。
- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、さわる絵本や点字絵本、LLブックなどの提供により、障がいのある子どもだけでなく周りの子どもや大人も一緒に楽しめる資料の利用を推進します。
- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、拡大読書器の利用を推進します。
- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、対面朗読サービスの充実と利用を推進します。
- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、自分で読書が出来ない子どもに対して図書館利用の際の介助を行います。

2-2 中山道みたけ館(図書館)と関係機関の連携・協力の推進

(1) 中山道みたけ館(図書館)などの関係機関の連携・協力の推進

子どもの読書活動を推進するために、中山道みたけ館(図書館)・学校・児童館などの関係機関の連携・協力が不可欠です。このため、関係機関の連携強化に努めます。

具体的な取組

- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、岐阜県図書館情報ネットワークなどを活用し、岐阜県図書館や県内の公共図書館と子どもの読書推進活動についての情報交換を推進します。
- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、岐阜県図書館の児童図書研究室の団体向けサービスを活用するとともに、読み比べ絵本を使用した良書の選び方などの研修を各関係機関の職員に対して行います。
- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、町内の各読書グループに対して情報提供や資料の貸出、研修の機会などを提供して、その活動を支援します。
- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、図書館司書を学校へ訪問させ、子どもの読書活動についての情報交換を行うように努めます。
- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、学校の授業などでの見学を積極的に受け入れます。
- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、図書館司書・図書館担当教諭・学校図書館司書とが、常に情報交換できる体制をつくります。

2-3 学校図書室における整備・充実

(1) 学校図書室における図書の計画的整備

学校教育課は、学校図書室の図書資料を計画的に整備・充実します。

具体的な取組

- ・ 学校図書室は、学校図書館図書標準の定める冊数に満たない学校図書室の資料を継続的に整備します。
- ・ 学校は、社会情勢や子どものニーズに応じた図書資料の選定に努めるとともに、常に新しい情報が提供できるよう古い資料の見直しを行います。

(2) 学校図書室における設備の整備・充実

学校は、学校図書室の設備の充実を図ります。

具体的な取組

- ・ 学校は、子どもが読書を楽しみ、くつろげる空間を創出するため、季節ごとの展示コーナーの設置や、教職員や学校図書館司書のオススメ本コーナーを設けるなど、温かい雰囲気のある学校図書室の整備を目指します。
- ・ 学校は、子どもの読書意欲を高め、調べ学習などに活用できる学校図書室を目指し、図書の分類や書架の工夫、本の紹介コーナーの設置を推進します。

(3) 学校図書室における情報化の整備・充実

学校及び学校教育課、生涯学習課は、子どもの多様な趣味・関心に対応し様々な本との出会いを支援するために、学校図書室の蔵書のデータベース化を目指すとともに、中山道みたけ館の蔵書検索を利用し学校図書室でも活用できるようにします。

具体的な取組

- ・ 生涯学習課及び学校教育課は、学校図書室の蔵書のデータベース化を目指します。
- ・ 生涯学習課及び学校教育課は、中山道みたけ館(図書館)と学校図書室の協力体制を構築し、学校図書館司書や教職員が必要とする図書館資料を即時に検索できる体制作りを目指します。

(4) 学校図書室の活用を目指すための人的配置の整備・充実

学校図書室の運営には校長のリーダーシップの下、図書館担当教諭が中心となり、教職員や学校図書館司書などが連携・協力しそれぞれの立場から学校図書室の機能の充実を図っていくことが重要です。このため、学校教育課は、図書館担当教諭の配置など適切な人的配置に努めます。

具体的な取組

- ・ 学校教育課は、教職員に司書教諭養成講習の受講を勧め、資格取得者の増員を目指します。
- ・ 学校教育課は、図書館担当教諭が学校図書室の運営に十分な役割を果たすことが出来るよう、図書館担当教諭の職務内容についての指導を行い、教職員の意識の高揚を目指します。
- ・ 学校教育課は、学校図書室での学校図書館司書の勤務体制などを見直すことや、学校図書館司書への育成指導を実施することで、図書室の機能の充実を図ります。
- ・ 学校教育課は、図書館担当教諭や学校図書館司書が研修に参加する機会を設け、その資質の向上を図ります。

(5) 学校図書室の活用を目指すための教職員の意識高揚

学校で子どもたちが読書についての意識を高めていくためには、担任などの読書への意識を高めていくことが重要です。このため、学校教育課は、全ての教職員に対して読書への意識を高める取組に努めます。

具体的な取組

- ・ 学校は、児童生徒の読書習慣の確立のため、教職員の研修や先進校の視察などを行い教職員の読書活動への意識を高めます。

2-4 保育園・幼稚園における子どもの読書環境の整備

(1) 保育園や幼稚園における図書の充実と選書の工夫

保育園及び幼稚園は、子どもが絵本などに親しむ機会を与え、気軽に絵本に触れることが出来るスペースの確保に努めるとともに、保護者、ボランティアなどと連携・協力するなどして読書環境の整備が進むように努めます。

具体的な取組

- ・ 保育園及び幼稚園は、乳幼児が絵本や物語、図鑑などを身近に感じられるような親しみやすい雰囲気のある絵本コーナーの設置・充実を図ります。
- ・ 保育園及び幼稚園は、子どもの読書意欲に応えるため、関係機関との連携を密にし、中山道みたけ館(図書館)の団体貸出や図書巡回を積極的に活用するなどして、豊富で多様な図書を用意します。
- ・ 保育園及び幼稚園は、保育者や保護者、ボランティアとの連携による絵本の読み聞かせなどを行い、子どもが絵本への興味を抱くような環境づくりを目指します。

2-5 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及活動

(1) 御嵩町全体での普及活動

御嵩町は、本計画及び子どもの読書の日などを町民に周知するため、国や県の事業に合わせて広報活動を展開します。

また、他の市町村・学校・中山道みたけ館(図書館)・民間団体などにおける子ども読書活動推進に関する情報の収集に努め、それらを町民に積極的に提供します。

具体的な取組

- ・ 御嵩町は、本計画を周知するため、パンフレットを作成し、関係機関を通して広く配布します。
- ・ 御嵩町は、本計画や国及び県の計画、子どもの読書活動の推進に関する法律などを広報誌「ほっとみたけ」及び町のホームページをはじめ、様々な媒体を活用して広く周知します。

(2) 家庭・地域・学校における普及活動

中山道みたけ館(図書館)及び児童館・子育て支援センター・学校・保育園・幼稚園では、本計画を町民に周知するため、それぞれの施設において広報・啓発活動を行います。

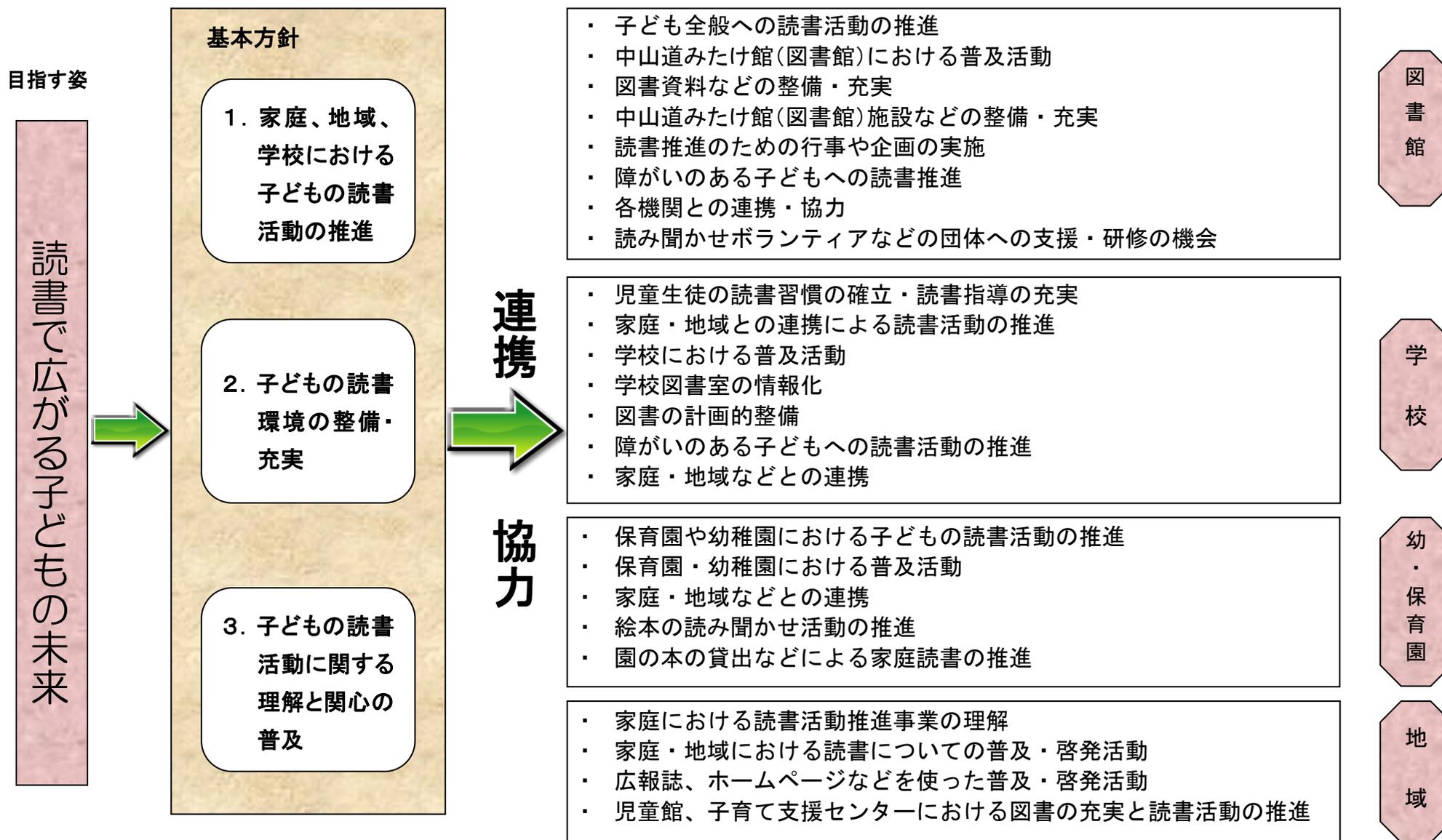
また、各施設の職員においてもその意識の高揚に努めます。

具体的な取組

- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、ホームページを通じて、子どもの読書活動の推進に関する町内の活動事例を紹介するなど、積極的な情報提供に努めます。
- ・ 中山道みたけ館(図書館)は、中山道みたけ館だよりなどの配布物を通じて、本計画の周知に努めます。
- ・ 児童館・子育て支援センター・公民館は、館内のポスター掲示などを通じて本計画の周知に努めます。
- ・ 学校及び幼稚園、保育園では施設内へのポスター掲示や配布物(保護者向けも含む)などを通して、子どもや保護者に対して本計画の周知に努めます。
- ・ 関係する施設の職員は、子ども読書活動の推進についての活動事例や情報を常に共有し、本計画の周知と理解、意識の高揚に努めます。

第五編 本計画の取組体系

(1) 御嵩町子どもの読書活動推進計画施策の取組体系



資料1. 子どもの読書活動の推進に関する法律

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

- 2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。
- 3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

- 第9条** 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。
- 2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。
 - 3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。
 - 4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

- 第十条** 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。
- 2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。
 - 3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

- 第十一条** 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

資料2—1 御嵩町子どもの読書活動調査 保護者向けアンケートの詳細結果

※平成23年9月に町内の小中学生の保護者、保育園・幼稚園の保護者にご協力いただき実施したものの

	保育園・幼稚園 〔年中〕	小2	小5	中2
配布数	148	159	177	160
回収数	119	141	141	119
回収率	80.4%	88.7%	79.7%	74.4%

問1 お子さんは、本(読書)が好きですか？

	保育園・幼稚園 〔年中〕	小2	小5	中2
1 好き	58.0%	42.6%	31.2%	29.4%
2 どちらかといえば好き	35.3%	40.4%	35.5%	45.4%
3 どちらかといえば嫌い	5.0%	13.5%	27.0%	18.5%
4 嫌い	0%	1.4%	2.8%	4.2%
未回答	1.7%	2.1%	3.5%	2.5%

問2 お子さんは、どのくらい本をよんでいますか？

	保育園・幼稚園 〔年中〕	小2	小5	中2
1 ほぼ毎日	31.1%	28.4%	23.4%	26.9%
2 週に3回くらい	38.7%	24.8%	22.7%	21.0%
3 週に1回くらい	21.0%	27.7%	22.7%	21.8%
4 月に1・2回	2.5%	11.3%	7.8%	10.1%
5 年に数回	3.4%	4.3%	14.2%	10.9%
6 ほとんど読んでいない	1.7%	2.1%	7.1%	7.6%
未回答	1.7%	1.4%	2.1%	1.7%

問3 普段、ご家庭では、主にどなたがお子さんに本を読んであげていますか？(複数回答可)

※年中児・小2の保護者には今現在、小5、中2にはお子さんが小さかった時のことを聞いています。

	保育園・幼稚園 〔年中〕	小2	小5	中2
1 母	93.3%	84.4%	89.4%	88.2%
2 父	37.8%	24.1%	14.9%	16.0%
3 祖母	22.7%	9.9%	16.3%	8.4%
4 祖父	4.2%	2.1%	1.4%	0.8%
5 兄・姉	18.5%	5.7%	3.5%	6.7%
6 おじ・おば	0.8%	1.4%	0%	0.8%
7 その他	4.2%	2.8%	0.7%	0.8%

その他の回答 保育園の先生 ・自分で読んでいる ・大祖母

問4 お子さんは、どのくらい本を読んでもらっていますか？

※ 年中児・小2の保護者には今現在、小5、中2にはお子さんが小さかった時のことを聞いています。

	保育園・幼稚園 [年中]	小2	小5	中2
1 ほぼ毎日	23.5%	9.2%	25.5%	32.8%
2 週に3回くらい	32.8%	14.2%	24.1%	29.4%
3 週に1回くらい	37.0%	31.9%	21.3%	16.0%
4 月に1・2回	4.2%	23.4%	12.8%	8.4%
5 年に数回	1.7%	14.9%	11.3%	6.7%
6 ほとんどしていない	0.8%	5.7%	4.3%	6.7%
未回答	0%	0.7%	0.7%	0%

問5 お子さんは本をどのようにして入手されますか？(複数回答可)

	保育園・幼稚園 [年中]	小2	小5	中2
1 図書館で借りる	39.5%	73.0%	56.0%	50.4%
2 書店で買う	42.9%	24.1%	29.8%	46.2%
3 ほとんど借りない し買わない	5.0%	2.1%	2.1%	6.7%
4 その他	22.7%	4.3%	5.7%	0%

その他の回答 ・ 保育園で借りる ・ 保育園で定期購読している月刊絵本
 ・ 学校で借りる ・ 本をもらう ・ 家に絵本が揃っている ・ 親が読んでいたもの など

問6 あなたご自身は、読書が好きですか？

	保育園・幼稚園 [年中]	小2	小5	中2
1 好き	32.8%	26.2%	28.4%	24.4%
2 どちらかといえば好き	43.7%	46.8%	39.7%	47.9%
3 どちらかといえば嫌い	21.0%	25.5%	31.9%	24.4%
4 嫌い	1.7%	0.7%	0%	3.4%
未回答	0.8%	0.7%	0%	0%

(問6で「3」または「4」と回答した方へ)

問7 その理由は何ですか？

	保育園・幼稚園 〔年中〕	小2	小5	中2
1 つまらない	0%	5.4%	2.2%	9.1%
2 他に楽しいことがあるから	14.8%	16.2%	33.3%	27.3%
3 文章を読むことが苦手	44.4%	48.6%	51.1%	39.4%
4 その他	33.3%	27.0%	15.6%	18.2%
未回答	7.4%	2.7%	0%	6.1%

その他の回答 ・時間がない ・忙しい ・他にやらなければならないことがたくさんある
 ・本を読む時間を作ろうとしていない ・目が疲れる ・文字だけの本は苦手

問8 あなたは、本をどのようにして入手されますか？(複数回答)

	保育園・幼稚園 〔年中〕	小2	小5	中2
1 図書館で借りる	26.1%	31.9%	26.2%	27.7%
2 書店で買う	59.7%	53.9%	61.0%	58.8%
3 ほとんど借りないし買わない	10.1%	12.1%	14.2%	11.8%
4 その他	5.0%	3.5%	0.7%	4.2%

その他の回答 ・古本屋 ・インターネット ・友人に借りる ・生協 ・知人や友人からもらう

問9 あなたは、町の図書館をどのくらい利用されますか？

	保育園・幼稚園 〔年中〕	小2	小5	中2
1 週に3日以上	0%	0%	0%	0%
2 週に1回くらい	2.5%	2.1%	3.5%	5.9%
3 月に1~2回	37.0%	32.6%	31.2%	16.0%
4 年に数回	25.2%	25.5%	28.4%	38.7%
5 ほとんど利用していない	35.3%	37.6%	36.9%	37.8%
未回答	0%	2.1%	0%	1.7%

問10 あなたは、本を読むことが大切だと思いますか？

	保育園・幼稚園 〔年中〕	小2	小5	中2
1 思う	75.6%	72.3%	68.8%	73.1%
2 どちらかといえば思う	24.4%	24.8%	28.4%	26.1%
3 どちらかといえば 思わない	0%	0.7%	1.4%	0.8%
4 思わない	0%	0%	0%	0%
未回答	0%	2.1%	1.4%	1.7%

問11 どうすれば子どもたちがもっと本を読むようになると思いますか？(複数回答可)

	保育園・幼稚園 〔年中〕	小2	小5	中2
1 大人が読んであげる	71.4%	48.2%	28.4%	21.0%
2 テレビやゲームの時間を 減らす	16.0%	23.4%	41.1%	37.0%
3 本を読む、読まないは本人に まかせた方がよい	6.7%	20.6%	14.9%	25.2%
4 その他	16.0%	9.9%	15.6%	16.8%

- その他の回答
- ・親が楽しく読んでいる姿を子どもたちに見せる。
 - ・家族で読書の時間を作る。
 - ・本が家にある環境を作ること。
 - ・親が面白いと思った本を子どもにすすめること
 - ・子どもと一緒に楽しめる本を探して読む。
 - ・子どもの興味を知り、薦める。
 - ・図書館に行くと子どもたちが自然に借りてくれる。

問12 あなたは、子どものころ、本を読んでもらったことがありますか？

	保育園・幼稚園 〔年中〕	小2	小5	中2
1 よく読んでもらった	26.1%	21.3%	12.8%	10.1%
2 読んでもらったことがある	47.1%	39.7%	39.7%	21.8%
3 読んでもらったことはない	9.2%	16.3%	17.7%	22.7%
4 覚えていない	16.8%	21.3%	29.8%	37.8%
未回答	0.8%	1.4%	0%	7.6%

問13 あなたとお子さんとの関係を教えてください。

	保育園・幼稚園	小2	小5	中2
1 父	1. 7%	3. 5%	6. 4%	6. 0%
2 母	96. 7%	90. 8%	92. 9%	94. 0%
3 祖父	0. 8%	0%	0%	0%
4 祖母	0%	4. 3%	0. 7%	0%
5 おじ・おば	0%	0%	0%	0%
6 その他	0%	0%	0%	0%
未回答	0. 8%	1. 4%	—	—

自由意見

年中保護者より

- ・毎日忙しく時間が流れていますが、読み聞かせをしている時間は子どもと向き合う大切な時間です。子どもの笑顔や会話の時間が私の幸せなひとときです。
- ・図書館へ連れて行っています。他の人が読んでいる姿を見せたり、マナーも分かると思います。
- ・子どもに「読め」といっても読まないと思うので、親が読んであげたり、一緒に読むという事が大事だと思います。親子で本に関わって行けたらいいと思います。
- ・子どもの読書は本人が興味を持たないとダメだと思う。
- ・保育園で週1回本を借りてくるのはとてもありがたいです。週に1回くらいなら読んであげられるので。
- ・本を読むのが苦手な人もいますので、図書館の読み聞かせをもっと増やしてやってもらえるといいと思う。
- ・乳幼児期にたくさんの本に親しむことが大事だと思います。
- ・町の図書館があるなら、もっとPRして欲しい。いつ休みなのかも知らない。

小学校2・5年生保護者より

- ・年齢問わず本を読むことはとても大切だと思います。読解力も身に付きますし、全ての学習は読書からといっても過言ではないと思います。
- ・本を好きになることは、親が強制しないことだと思います。それより読んであげて同じ時間を共有し、会話をしたりしていると本を読むことがいい思い出となり大人になっても本が好きになるのではないかと子育てをしていて感じます。
- ・早く寝せることばかり考えていて、本を読んだから寝せるということを忘れていました。
- ・親が興味を持つことが大事だと思う。親が読まない子どもは読まないです。
- ・宿題が多く、塾もいっているので、その上本を読んでもとは言えません。

中学校2年生保護者より

- ・PC・インターネットの時代で本が隅に追いやれているようですが、本を読んで考え、創造性を養うことは本でしかできないのではと思います。
- ・子供自身で図書館に行きやすい交通網を考えて欲しい。祭日などにふれあいバスが動くといいのに…
- ・携帯メールなどの時間を減らすと本を読む時間が出来ると思います。
- ・学校図書館の充実、学校を魅力ある図書館にもらえるとう読書活動の推進に繋がると思います。
- ・平均的に全員の子どもに読ませるなら学校の朝読が一番いいと思います。

資料2—2 御嵩町子どもの読書活動調査 児童向けアンケートの詳細結果

※平成23年9月に町内の小中学校の児童、生徒の協力の下に実施したもの

	小2	小5	中2
配布数	159	178	160
回収数	158	177	149
回収率	99.4%	99.4%	93.1%

問1 性別は？

	小2	小5	中2
1 男	48.7%	59.9%	57.0%
2 女	51.3%	40.1%	43.0%

問2 本を読むことが好きですか？

	小2	小5	中2
1 好き	60.7%	28.2%	37.6%
2 どちらかといえば好き	26.0%	47.4%	42.9%
3 どちらかといえば嫌い	7.6%	17.0%	14.1%
4 嫌い	4.4%	6.8%	5.4%
未回答	1.3%	0.6%	0%

(問2で「3」または「4」と回答した方へ)

問3 その理由は何ですか？

	小2	小5	中2
1 つまらない	21.0%	21.4%	13.8%
2 他の遊びのほうがおもしろい	42.1%	38.1%	27.6%
3 文章を読むことが苦手	31.6%	38.1%	51.7%
4 その他	5.3%	2.4%	6.9%

その他の回答 ・マンガじゃないと読む気がしない。 ・眠くなる
 ・長い本は読む気を無くすから

問4 本を読んでもらうことが好きですか？

	小2	小5	中2
1 好き	59.5%	16.9%	8.1%
2 どちらかといえば好き	25.3%	44.1%	28.9%
3 どちらかといえば嫌い	4.4%	19.8%	26.8%
4 嫌い	3.8%	14.7%	27.5%
5 読んでもらったことがない	3.8%	4.5%	8.7%
未回答	3.2%	0%	0%

(問4で「3」または「4」と回答した方へ)

問5 その理由は何ですか？

	小2	小5	中2
1 つまらない	30. 8%	37. 7%	42. 0%
2 他の遊びのほうがおもしろい	53. 8%	29. 5%	16. 0%
3 その他	15. 4%	32. 8%	42. 0%

その他の回答 ・自分で読んだ方がよい ・自分のペースで読みたい
 ・自分が好きな本を読みたい ・疲れる ・眠たくなってくる

問6 どんな本が好きですか？(複数回答可)

	小2	小5	中2
1 小説や物語	36. 1%	28. 8%	65. 8%
2 伝記や歴史	3. 7%	17. 5%	10. 1%
3 社会や生活の本	20. 3%	4. 5%	0%
4 化学の本	14. 6%	8. 5%	6. 1%
5 スポーツや趣味の本	15. 2%	27. 7%	21. 5%
6 マンガ	55. 7%	70. 6%	61. 1%
7 その他	11. 4%	3. 4%	10. 7%

その他の回答 ・雑誌 ・なぞなぞ ・工作 ・昆虫 ・動物 ・料理

問7 読みたい本をどのようにして手に入れますか？(複数回答あり)

	小2	小5	中2
1 本屋で買う	50. 0%	63. 8%	83. 9%
2 学校の図書室で借りる	46. 9%	23. 7%	45. 6%
3 町の図書館で借りる	29. 1%	16. 9%	14. 1%
4 友達から借りる	5. 1%	1. 7%	15. 4%
5 その他	0. 6%	5. 6%	4. 7%

その他の回答 ・前からあったもの ・中古で買う ・ネット通販 ・買わない

問8 1ヶ月に何冊くらい本を読みますか？(平均)

	小2	小5	中2
1 1～5冊(平均)	29. 7%	30. 0%	49. 0%
2 6～10冊(平均)	11. 4%	27. 1%	12. 1%
3 11～15冊(平均)	3. 8%	6. 2%	2. 7%
4 16～20冊(平均)	16. 5%	7. 3%	3. 3%
5 21～25冊(平均)	1. 9%	4. 5%	1. 3%
6 26冊以上(平均)	28. 5%	10. 7%	2. 7%
未回答	7. 6%	10. 2%	18. 8%
本を読まない	0. 6%	4. 0%	10. 1%

※ 問8は 1. 2どちらかに回答した場合が多く、未回答率が他に比べて高くなっています。

問8 1ヶ月に何冊くらい本を読みますか？（最大）

	小2	小5	中2
1 10冊未満(最大)	15.2%	16.4%	34.2%
2 20冊未満(最大)	7.6%	13.6%	10.8%
3 30冊未満(最大)	5.7%	7.3%	6.7%
4 30冊以上(最大)	30.4%	12.4%	8.7%
未回答	40.5%	46.3%	29.5%
本を読まない	0.6%	4.0%	10.1%

※ 問8は 1. 2どちらかに回答した場合が多く、未回答率が他に比べて高くなっています。

問8で本を読まないと答えた方

問9 本をよまないのはどうしてですか？

	小2	小5	中2
1 つまらない	0%	42.9%	33.3%
2 他の遊びのほうがおもしろい	0%	28.6%	33.3%
3 時間がない	0%	0%	22.2%
4 本を読む場所がない	0%	0%	33.3%
5 読みたい本がない	100%	14.3%	5.6%
6 その他	0%	0%	5.6%
未回答	0%	14.3%	33.3%

※ 中2回答に複数回答あり。

問10 1週間にどのくらいの時間本を読みますか？（平均）

	小2	小5	中2
1 1時間未満(平均)	10.8%	20.3%	11.3%
2 1～3時間(平均)	61.4%	35.6%	37.1%
3 3～5時間(平均)	8.2%	14.1%	12.6%
4 5～7時間(平均)	3.2%	3.4%	2.0%
5 7時間以上(平均)	7.6%	17.0%	9.9%
未回答	7.0%	5.6%	18.5%
本を読まない	1.3%	4.0%	8.6%

※ 問10は 1. 2どちらかに回答した場合が多く、未回答率が他に比べて高くなっています。

問10 1週間にどのくらいの時間本を読みますか？（最大）

	小2	小5	中2
1 1時間未満(最大)	1. 3%	8. 5%	1. 3%
2 1～5時間(最大)	38. 6%	28. 3%	38. 9%
3 6～10時間(最大)	5. 7%	7. 3%	3. 4%
4 11～15時間(最大)	1. 3%	1. 7%	3. 4%
5 16～20時間(最大)	0%	1. 1%	0. 7%
6 20時間以上(最大)	0. 6%	2. 8%	5. 4%
未回答	51. 2%	46. 3%	38. 2%
本を読まない	1. 3%	4. 0%	8. 7%

問11 どこで本を読むことが多いですか？（複数回答あり）

	小2	小5	中2
1 自分の部屋	35. 4%	46. 9%	66. 4%
2 家族のいる部屋	45. 6%	36. 2%	28. 9%
3 学校の図書室	7. 6%	5. 7%	10. 1%
4 町の図書館	5. 7%	4. 0%	2. 0%
5 その他	22. 8%	9. 0%	27. 5%

その他の回答 ・教室 ・キッチン ・祖母の家 ・自分の机 ・本屋で読む ・布団

問12 読む本をどのようにして決めていますか？（複数回答あり）

	小2	小5	中2
1 本屋で自分が決める	36. 7%	55. 4%	74. 5%
2 学校の図書室の棚を見て決める	43. 7%	22. 0%	42. 3%
3 町の図書館の棚を見て決める	20. 9%	11. 3%	14. 8%
4 親にすすめてもらう	6. 3%	1. 7%	2. 0%
5 友達から聞く	8. 2%	5. 1%	20. 8%
6 テレビで見た本にする	9. 5%	5. 1%	8. 1%
7 その他	3. 2%	7. 9%	8. 1%

その他の回答 ・うわさの本を借りる ・姉に勧めてもらう ・ネットのレビュー
 ・兄弟が読んだ本を読む ・表紙で決める ・あまり考えない

問13 あなたは、本を読むことが大切だと思いますか？

	小2	小5	中2
1 思う	67. 7%	43. 5%	48. 3%
2 どちらかといえば思う	22. 7%	41. 8%	43. 0%
3 どちらかといえば 思わない	36. 7%	10. 7%	4. 0%
4 思わない	5. 1%	3. 4%	4. 0%
未回答	0%	0. 6%	0. 7%

問13で「1」または「2」と回答した方

問14 どんなときに本を読んでいて良かったと思いますか？(複数回答あり)

	小2	小5	中2
1 読んでいておもしろい	55.9%	41.7%	63.2%
2 知らないことが分かる	44.1%	29.1%	36.8%
3 考える力がつく	29.4%	0.9%	20.6%
4 文字や言葉について詳しくなる	15.4%	10.6%	0.3%
5 その他	0%	0.7%	0.5%

その他の回答 ・創造力がつく ・読む力がつく ・皆の話題について行ける ・暇つぶしになった

問13で「3」または「4」と回答した方

問15 大切だと思わないのは何故ですか？

	小2	小5	中2
1 何の役にも立たないと思うから	26.7%	36.0%	41.7%
2 他にやることがあるから	60.0%	52.0%	41.7%
3 その他	13.3%	4.0%	16.6%
未回答	0%	8.0%	0%

その他の回答 ・時間がないから ・人それぞれ ・趣味だから ・何も分からない

問16 どうすればみんながもっと本を読むようになると思いますか？(複数回答あり)

	小2	小5	中2
1 学校で読書の時間を増やす	55.7%	49.2%	45.0%
2 テレビやゲームの時間を減らす	29.7%	13.6%	13.1%
3 本を読む、読まないは本人にまかせた方がよい	25.3%	34.5%	39.0%
4 その他	0.6%	2.3%	7.0%

その他の回答 ・遊ぶのを読書に変える ・呼びかけ ・読みたいと思う本を読む
 ・もっと本の数を増やす ・学校にマンガを持ってきてよいようにする

問17 あなたのまわりによく本を読んでいる人はいますか？(複数回答あり)

	小2	小5	中2
1 父・母	51.9%	28.2%	26.9%
2 兄弟・姉妹	29.4%	34.5%	23.0%
3 祖父・祖母	12.0%	8.5%	8.9%
4 友達	19.1%	28.2%	53.1%
5 その他	8.6%	10.2%	9.4%

その他の回答 ・いない ・自分 ・いとこ ・おじさん

問18 あなたの学級に読書タイムがありますか？

	小2	小5	中2
1 ある	98.7%	94.9%	97.4%
2 ない	1.3%	3.4%	1.3%
未回答	0%	1.7%	1.3%

問18で「1」と回答した方

問19 それによってどんなことが変わりましたか？(複数回答あり)

	小2	小5	中2
1 前より本をよく読むようになった	41.7%	17.5%	44.3%
2 本が好きになった	34.6%	14.1%	11.4%
3 図書室や図書館に良くいくようになった	20.5%	10.2%	9.4%
4 特に変わりはない	21.2%	54.8%	41.6%
5 その他	2.0%	1.7%	1.3%
未回答	—	1.7%	—

その他の回答 ・最初から好き ・本屋へ行くことが多くなった ・運動をしなくなった

問20 あなたは、この1年の間に学校の図書室にいったことがありますか？

	小2	小5	中2
1 ある	99.4%	98.9%	95.3%
2 ない	0%	1.1%	2.7%
未回答	0.6%	0%	2.0%

問20で「1」と回答した方

問21 図書室に行ったのは何のためですか？(複数回答あり)

	小2	小5	中2
1 調べ学習などの授業	—	14.9%	21.8%
2 本を読むため	47.1%	30.3%	35.9%
3 本を借りるため	56.1%	73.7%	80.3%
4 その他	1.3%	2.9%	2.1%

その他の回答 ・返却の期限があるから ・委員会 ・色々

問20で「2」と回答した方

問22 図書室に行かなかった理由は何故ですか？

	小2	小5	中2
1 読みたい本が無い	0%	0%	0%
2 本を読むのが好きではない	0%	0%	0%
3 図書室が遠い	0%	0%	0%
4 図書室が開いていない事が多い	0%	0%	0%
5 新しい本が少ない	0%	0%	25%
6 本の選び方がわからない	0%	50%	0%
7 その他	0%	0%	75%
未回答	0%	50%	0%

その他の回答 ・わざわざ行かなくても買えばいい めんどくさい

※ 中2回答に複数回答あり。

問23 学級文庫の本を読みますか？

	小2	小5	中2
1 読む	89.3%	68.4%	38.9%
2 読まない	9.5%	28.8%	47.0%
3 学級文庫は無い	0.6%	1.7%	11.4%
未回答	0.6%	1.1%	2.7%

問23で「1」と回答した方

問24 どんなときに学級文庫の本を読むことが多いですか？(複数回答あり)

	小2	小5	中2
1 読書タイム	61.7%	44.6%	81.0%
2 休み時間	19.9%	44.6%	10.3%
3 放課後	0%	0.8%	1.7%
4 家に帰ってから	2.8%	0%	3.5%
5 その他	18.4%	13.2%	1.7%

その他の回答 ・朝読書 ・給食の前 ・暇な時 ・授業中 ・借りた本を読んではしまったら

問25 あなたは、この1年の間に図書館(中山道みたけ館)に行ったことがありますか？

	小2	小5	中2
1 ある	67.7%	74.0%	49.0%
2 ない	29.1%	24.9%	49.0%
未回答	3.2%	1.1%	2.0%

問25で「2」と回答した方

問26 図書館に行かなかった理由は何故ですか？(複数回答あり)

	小2	小5	中2
1 本に興味が無い	8.7%	25.0%	11.0%
2 図書室が遠い	32.6%	25.0%	23.3%
3 本屋さんで買うことが多い	15.2%	18.2%	35.6%
4 時間が無い	15.2%	34.1%	31.5%
5 家や学校に読みたい本がある	13.0%	2.3%	9.6%
6 その他	26.1%	11.4%	26.0%

その他の回答 ・家の人が連れて行ってくれない ・場所を知らない ・別の図書館へ行っている
 ・読みたいと思う本がない ・めんどくさい ・行かなくても買える

問25で「1」と回答した方

問27 あなたは、図書館(中山道みたけ館)をどのくらい利用されますか？

	小2	小5	中2
1 ほとんど毎日	6.5%	1.5%	0%
2 週に3日くらい	17.8%	4.6%	0%
3 週に1回くらい	27.1%	13.7%	0%
4 2週間に1回くらい	6.5%	12.2%	13.7%
5 1ヶ月に1回くらい	20.6%	20.6%	26.0%
6 年に3回くらい	15.0%	32.8%	49.3%
7 その他	5.6%	14.5%	11.0%
未回答	0.9%	0%	0%

その他の回答 ・1年に1回 ・用がある時 ・夏休みには行く ・今までに1回

問25で「1」と回答した方

問28 図書館(中山道みたけ館)へ行くときは誰と行くことが多いですか？(複数回答あり)

	小2	小5	中2
1 自分だけ	1.9%	12.2%	19.2%
2 家族	85.0%	53.4%	56.2%
3 友達	18.7%	21.4%	32.9%
4 その他	4.7%	1.5%	0%

その他の回答 ・おばあちゃん ・いとこ ・家庭教師の先生

問25で「1」と回答した方

問29 図書館(中山道みたけ館)へ行くのは何のためですか？(複数回答あり)

	小2	小5	中2
1 本を借りるため	43.9%	42.7%	53.4%
2 本を読むため	37.4%	26.0%	43.8%
3 調べものをするため	28.0%	16.0%	20.5%
4 ビデオを見るため	30.0%	27.5%	15.1%
5 インターネットを利用するため	4.7%	1.5%	4.1%
6 お話会などのイベントに参加するため	2.8%	3.1%	1.4%
7 その他	2.8%	2.3%	8.2%

その他の回答 ・勉強しに行く ・休憩するため ・トイレ ・暇つぶし
 ・親子クエスト ・なんとなく ・涼しいから

問30 中山道みたけ館にこうして欲しいと思うことは何ですか？(複数回答あり)

	小2	小5	中2
1 開いている日を増やして欲しい	19.6%	10.7%	6.0%
2 開いている時間を長くして欲しい	21.5%	10.2%	12.8%
3 本を増やして欲しい	26.0%	30.0%	36.2%
4 貸出期間を長くして欲しい	15.2%	18.6%	21.5%
5 本を読む席を増やして欲しい	12.0%	7.4%	11.4%
6 家の近くに図書館が欲しい	41.7%	22.0%	24.2%
7 その他	13.3%	17.5%	24.2%

その他の回答 ・ビデオを増やして欲しい ・ビデオを見る場所を増やして欲しい
 ・マンガを入れて欲しい ・小説増やして ・特にな
 ・中学生が読む本を入れて欲しい。小学生の本ばかりでつまらない
 ・インターネットを増やして欲しい ・ライトノベルをもっと入れて欲しい

資料4. 御嵩町子どもの読書活動推進計画策定委員会設置要綱

平成24年6月1日

教委訓令甲第4号

(設置)

第1条 子どもたちの読書活動の推進を図るため、御嵩町子どもの読書活動推進計画（以下「計画」という。）を策定することを目的として、御嵩町子どもの読書活動推進計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 計画策定に関すること。
- (2) その他教育長が必要と認めること。

(組織)

第3条 委員会は、委員20人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる読書活動について優れた見識を有する者のうちから、教育長が委嘱又は任命する。

- (1) 関係団体の代表者
- (2) 小中学校校長会図書館部門顧問
- (3) 公立保育園園長代表及び私立幼稚園教諭
- (4) 小中学校図書館主任
- (5) その他教育長が適当と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、第1条の目的を達成した時点をもって満了とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員のうちから互選する。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、必要に応じて教育長が招集する。

2 会議の議長は、委員長をもって充てる。

3 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、文化振興を担当する課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が委員会に諮って定めるものとする。

附 則

(施行期日)

1 この訓令は、公布の日（以下「施行日」という。）から施行する。

(委員の任期の特例)

2 施行日以後最初に委嘱又は任命される委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず平成25年3月31日までとする。

資料5. 御嵩町子どもの読書活動推進計画策定委員名簿

役 職	氏 名	所 属
委員長	梅田 幸秀	校長会図書館部会顧問（伏見小学校校長）
副委員長	瀬瀬 隆朗	学校教育課主幹
委員	辻 佐千子	上之郷小学校（図書館主任）
委員	真鍋 陽子	御 嵩小学校（図書館主任）
委員	田口 直子	伏 見小学校（図書館主任）
委員	安江 友香	上之郷中学校（図書館主任）
委員	山口 明美	向 陽中学校（図書館主任）
委員	谷口 祐嗣	共 和中学校（図書館主任）
委員	狩野 藍	東濃実業高校図書館司書
委員	後藤 明美	保育園園長会代表
委員	水野美保子	みたけ幼稚園主任保育士
委員	井藤 直美	子育て支援センター所長
委員	須田 昌子	家庭教育学級（生涯学習課）
委員	安藤 龍子	小学校読み聞かせボランティア代表
委員	斉藤 節子	読み聞かせボランティア代表
委員	高屋 敦子	読書サークル代表

事務局	丹羽 一仁	教育長
〃	玉木 幸治	生涯学習課課長
〃	佐藤 淳二	文化振興係長
〃	山田 美絵	図書館主任司書

御嵩町 子どもの読書活動推進計画

平成 25 年4月発行

発行：御嵩町教育委員会 生涯学習課文化振興係

編集：中山道みたけ館

〒 505-0116 岐阜県可児郡御嵩町御嵩1389番地1

TEL 0574-67-7500

FAX 0574-68-0005

電子メール S-bunka@town.mitake.lg.jp